

第1回南砺市立保育園審議会  
会議録

期 日 平成18年12月8日(金) 14時～15時30分

会 場 南砺市役所福野庁舎 2階講堂

出席者

宮田 徹 委員	小林 敏夫 委員	中田 勝治 委員
浅田 裕二 委員	水木 猛 委員	嶋 信一 委員
金田 悦子 委員	川上 優香 委員	際 優美子 委員
梧桐 朋恵 委員	窪 有美子 委員	古瀬美奈子 委員
柄崎 篤香 委員	高輪 映子 委員	横川 正希 委員
寺井 孝夫 委員	中藪 淳一 委員	岩田 繁子 委員
定村 弘 委員		

欠席者

南 尚三 委員

市当局

溝口 進 市長	清都 邦夫 助役	山本 勝徳 収入役
向川 民生部長	斉藤 民生部次長	

事務局

森田 児童育成課長	岩見 同課主幹・保育園係長
伊東 同課副主幹	小橋 同課副主幹

会議内容

(開会)

斉藤次長

第1回の保育園審議会を開会いたします。まず市長がご挨拶いたします。

溝口市長

本日はお忙しいところ委員の皆様にはご出席いただききましてありがとうございます。委員の委嘱につきましてご了解をいただき感謝いたします。

さて、少子化につきましては、出生率は下げどまりと思われ、若干上向いている数字も出ていますが、大きく改善するところまでは至っておりません。国レベルの課題として様々な施策が展開されていますけれど、決定打が無いのが実情と思われれます。

南砺市内の保育園の現状をみますと公立保育園が29箇所あり、1園は既に10人以下になり休園状態です。また、園児数が20人を下回る保育園が3園あり、今後も小規模な保育園が増えるものと予想されます。小規模な保育園も園児の成長過程におきまして情操豊かな感受性を養えますが、予算があれば

ば良いのですが、やはりある程度の規模の集団生活が必要であると思われます。現状では、行事である運動会や生活発表会等は園児や保護者の方々にとっても大変寂しい状態であり、ひいては日常の保育サービス水準にも支障を来たしかねないと懸念しております。一方、保育ニーズにおきましては、世代、世相を反映して延長保育、里帰り保育、いろんな保育の形態も出てきます。又、途中入園児の増加や乳幼児の入園希望等きめ細かな保育が求められています。これらを踏まえ、通常保育の水準確保はもとより特別保育に属するサービスの水準を一律化していこうとすると適正な保育園の規模も考えなければならないと思われまます。南砺市議会におきましては、9月議会において保育園審議会条例を制定し、本日の審議会開催に至ることになりました。

委員各位のおかれましては、保育園の現状や課題、本審議会の趣旨を十分ご理解いただき、今後の保育行政のあり方について活発な審議や適切なお提言いただきますようお願い申し上げます。

なお、本日は第1回でありますので、会長、副会長を選んでいただき、市内の保育園の概要をご説明申し上げます。第2回の審議会では諮問案という形でご意見を賜りたいと考えております。開会にあたり、重ねて感謝をし、これからの審議にご理解ご協力をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

齊藤次長 続きまして「南砺市立保育園審議会条例」を向川部長が説明いたします。  
向川部長 ご苦労様です。9月議会で制定された「南砺市立保育園審議会条例」について説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。  
(資料に基づき説明。)

第3条第2項には委員について市長が委嘱することを明記しております。表紙の次に委員名簿を載せております。職名毎に皆様方に委嘱をお願いするものです。委嘱書は市長から委員一人一人に渡すべきところではございますが、委員各位のお手元に置かせていただき、委嘱という形にしたいと思っております。

齊藤次長 ここで本日ご出席いただきました委員の皆さんを紹介させていただきます。  
岩見主幹が紹介いたします。

岩見主幹 お手元の名簿等を参考にしてください。審議会席順表の右上からご紹介いたします。  
宮田委員、小林委員、……………岩田委員、定村委員を紹介。

齊藤次長 次に市からの出席者を紹介します。  
清都助役、山本収入役、……………紹介。  
続きまして、審議会条例第5条により会長、副会長を置き、会長は委員の中から互選ということになっておりいかがいたしましょうか。

- 委員           ご専門でもある富山短期大学の宮田先生はいかがでしょう。
- 斉藤次長       今ほど富山短期大学の宮田先生を会長にというご発言をいただきましたがいかがでしょう。
- (拍手)
- ありがとうございます。ご承認をいただきましたので、宮田先生、会長席へお願いいたします。挨拶をいただき、議長としてこの後の進行をお願いいたします。
- 宮田会長       ただ今、会長ということでご指名を受けました富山短期大学幼児教育学科の宮田でございます。児童育成を担当しており、保育所のあり方、保育を通した子育て支援を専門としております。皆様方と一緒に南砺市の保育園について考えて参りたいと思っております。どうか皆様よろしく申し上げます。
- (拍手)
- それでは審議会条例により、副会長は会長が指名するということでございますので、岩田繁子氏を指名することでいかがでしょうか。
- (拍手)
- 岩田副会長     ただ今、会長から指名を受けました副会長の岩田繁子でございます。いろいろな審議会がございますが、今回の審議会は特に女性の立場から、また、私から見れば子や孫への思いから意見をとっております。できるだけ多くの意見をいただきたいと思っております。皆様のお力添えをいただき務めさせていただきます。よろしくお願いたします。
- 宮田会長       本日は第1回でありますので、現在の市内保育園の概要について説明をお願いいたします。
- 森田課長       市内保育園の概要について説明いたします。お手元の資料「市立保育園の概要」をご覧ください。
- (資料に基づき説明)
- 保育園条例…保育園の設置箇所・保育園数の説明。
- 保育園条例施行規則…保育園の定員の説明。
- 近年の傾向は、園児数減により定員も削減しています。
- 保育園一覧表…保育園建築年月、平成18年度園児数、平成19年度入園見込数の説明。
- 城端さくら保育園は、平成16年4月に6箇所の保育園が1箇所に統合されました。平みどり保育園は、平成17年5月に2箇所の保育園が1箇所に統合されました。上平保育園は、平成17年6月に2箇所の保育園が1箇所に統合されました。利賀ささゆり保育園は平成16年10月に2箇所の保育園が1箇所に統合されました。井波第一、第二保育園は昭和56年、昭和53年に建築しており、25年以上経過しております。南山見、山野、井波高瀬保育園は平成に入ってから

改築しております。井口保育園は、令和 4 年に改築しております。福野地域の保育園は、建築後 21～35 年経過しております。福野高瀬保育園は、令和 17 年 4 月から休園しております。福光地域は、太美山保育園が、令和 3 年に建築されており、福光、吉江保育園は、建築後 30 年以上経過しております。

令和 19 年度入園見込みの全体園児数は、令和 18 年度全体園児数と比べ 31 人減っております。

6 頁には、旧 4 町の園児数が、令和 13 年度から 19 年度までどのように変わってきているかを表しております。城端地域は、18 年度に比べて 5%減少しており、井波、福野地域は、ほぼ同じ、福光地域は、3%減少しており、全体では 2%の減少となっております。また、令和 13 年度と比べると 12%も減少しております。

7 頁は、保育サービスの一覧です。延長保育は、通常の保育は 6 時までですが、時間を延長し 7 時まで保育しており、各地域で実施しております。乳幼児健康支援一時預かりは、かぜなどで自宅で療養しなければならないが、回復期になっても保護者が都合でできない場合にお預かりするもので、城端さくら保育園で実施しております。乳児保育は、0 歳児のお子さんをお預かりするもので、それぞれの地域の保育園で実施しております。心身障害児保育は、現在お預かりしている保育園の状況を表しております。一時保育は、未就園児が家庭で保育している方が一時的に都合の悪い場合にお預かりしているものですが、実施している保育園を表しております。子育て支援センターは、保育園に来ておられないお子さんがお母さんやお婆ちゃんと一緒に来園し、子育て相談や子供同士で仲良く遊ぶ場所を提供しながら子育て支援をしていくものです。地域によって若干状況が違っております。城端地域は、城端さくら保育園の別棟で実施しております。井波地域は、山野保育園内の一室で実施しております。福野地域は、保育園ではなく、児童センターアルカスで実施しております。福光地域は、福光児童館内の支援センターで実施しております。また、民間の私立保育園の喜志麻保育園でも、令和 17 年から実施しております。土曜一日保育は、実施している保育園を表しております。休日保育は、城端さくら保育園で実施しており、市内の保育園のお子さんをお預かりしております。

8 頁は、市内管内図に、保育園の位置を示しております。赤い線は、旧町村境で、水色の線は、旧小学校区を表し、緑色の線は、福光地域の小学校区を表しております。また、赤丸は、市の保育園を表し、緑の星印は、小学校を、赤いひし形は、私立の喜志麻保育園の位置を示しております。

9 頁には、福光地域にあります喜志麻保育園と、福光、福野、井波地域に各 1 箇所づつあります私立幼稚園の定員数と在園児の人数及び、令和 19 年度の入園見込み数です。

以上、市内の保育園につきまして概要等を申し上げます。

- 宮田会長 ありがとうございます。南砺市の保育園の状況を説明いただきました。いままでの説明でご質問があれば事務局よりお答えしますのでいかがでしょうか。
- 委員 次回でよろしいですが、保育士さんの人数も示してほしいと思います。子供の人数に対して何人の保育士さんが保育しておられるのかお願いします。
- 森田課長 次回に保育士、調理師の数について正職員を基本にしてお示しいたします。臨時職員は短時間勤務の人もおられ、人数だけではいけない点もあります。
- 委員 保育園の建物の耐震基準についても提示をお願いします。
- 森田課長 昭和56年以前に建築した建物は耐震の整備をする必要があり、平屋建ては該当しないが、2階建ては該当します。それを整備していくかについては統合の計画にも関連するので方向づけをしていただき実施していきたいと思っております。
- 宮田会長 次回に今ほど依頼のありました資料についてお願いいたします。他にご質問はありませんか。諮問については2回以降になるのではないかと考えております。どのようなサービスや機能が求められるのか、目標はどんなものなのか、実施するにはどんな方法がよいのか。意見、要望があればお願いしたいかがいでしょうか。
- 委員 保育園の今後についての審議会ですね。幼保一元化といった形での審議ではありませんね。
- 森田課長 幼保一元化として「認定こども園」が示されていますが、これは保育園、幼稚園両方の機能があります。現状はといいますと公立保育園と公立幼稚園がある自治体があり、そういった自治体では考えられています。市では保育園が幼稚園機能を持つということを考えておりません。今回の審議会でもその点は取り上げません。
- 委員 保育園の民営化についての考え方はどのようなものでしょうか。
- 森田課長 先ず保育園、施設の整備を考えており、民営化についてはその後ということになると思われるが、その点についてもご意見をいただきたくお願いします。
- 宮田会長 どこまで求められるのかは次回の諮問によると思われる。他にご意見はありませんか。
- 委員 地域毎の年齢別の人口も次回に示していただきたい。
- 森田課長 次回にお示しいたします。
- 委員 保育園に心身障害の子どもが入園した場合の制度はどのようなものがありますか。
- 森田課長 軽度のお子さんに対しては県の補助があります。保育現場では努力して定数の保育士で保育を実施しているが、どうしても増員が必要な場合は所要の追加配置をしております。いずれにしても子どもさんの状況によります。

- 宮田会長 よろしいでしょうか。保育士の配置はケースバイケースになるということでしょうか。他にご質問はありますか。
- 委員 保育園については地域でも関心があり、任期 2 年間で十分検討しなければならないことでもあり、これからの幼児教育から考えて避けて通れないと思われる。園児が 20 名以下の保育園が 3 ヶ所あり、どのような形が市民の納得を得られるのかとも思われます。特色ある南砺市の保育園のあり方をあまり時間をかけずにまとめていかなければなりません。市にはいろんな審議会がありますが、この審議会においては新しい展開は避けられないと思われ、地域的なことや環境を考えて各委員に指導をいただければありがたいものです。
- 宮田会長 見通しを持って、責任を持って審議会を進めていきたいと思っております。
- 委員 審議会条例の中に部会があるが、どんな部会を想定しているのか。もう 1 点は現場の保育園の先生方の意見、苦情も含めて聞く機会はあるのでしょうか。
- 向川部長 部会については、必ず設けるものではありません。今後の進行の中で必要なら設けていきたいと思っております。今後の進行を予測しますと対象になるのは旧 3 町と思われ、どの地域に幾つ保育園が必要なのかということが第一段階と思われ、次にどの場所が良いのか等について検討していただく段階において委員の方々には部会ということも有りえるのではないかと思われます。保育士の意見を聞くという点ですが、韃 19 年以降においては意見を聞くことも必要と思われます。
- 委員 幾つの保育園が必要かではなく、充実した保育にするにはいかにあるべきかの検討が必要と思われます。
- 向川部長 保育機能を高めるために検討をいただくものです。言葉不足でした。
- 宮田会長 保育機能を高めるとい目標があり、目標を目指すのに地域のニーズを聞きながらどのような機能を持ち、どういう保育園が良いのかを念頭に置きながら検討していきたいがよろしいでしょうか。他にありませんか。
- 委員 保育サービスの充実や建物の建築年度の状況等を勘案して勉強していく必要があると思われます。
- 宮田会長 目的をはたすためにはビジョンを示し、方法を検討しながら検討を進めたい。
- 委員 城端さくら保育園では平日に生活発表会をしていたが、土、日曜日に開催してほしいと保護者からのかねての要望で、今年度は今度の土曜日に実施されることになりました。大きい保育園で園児も多いので、午後は 12 時 20 分から始まることになっているが、30 分遅くしてほしいと多くの保護者は思っており、土曜と日曜日で開催する方法もあります。このように保護者はいろんな悩みを持っています。行政が管理しやすい方法ではなく子ども達のがのびのびとできる環境にしてほしいと思います。一人の先生が 20 人以上持っている状況は、子ども達を見守りましようと言っているわりには中味が薄いと思っ

ております。保育園の方向づけをしていくのは大切なことであり、自分の子ども一人一人がいると思って考えていただきたいとお願いいたします。

宮田会長  
委員  
ご意見をふまえながら進めていきたいと思っております。他にありますか。一番問題なのは子どもの送迎です。お爺ちゃんやお婆ちゃんの送迎も多く、車に乗れない方もおられるので、城端さくら保育園の状況も参考にしながらバス通園のあり方も教えていただきたい。

森田課長  
城端さくら保育園の実態等を見ていただくことも今後必要と思われ、いろんな意見を聞かせていただき勉強していきたいと思っております。

宮田会長  
次回に資料もいただき、更に検討をしていきたいと考えております。それでは事務局より今後の予定についてお願いいたします。

向川部長  
今年度におきましては2回の開催を予定しており、次回は2月に開催したく思っております。2月の開催前に半日での視察を考えており、それを踏まえて2回目の審議会を開催する予定です。視察の場所は、城端さくら保育園については行く機会があると思われるので、南砺市以外の場所を考えております。第2回の審議会にもご出席をお願いいたします。

宮田会長  
これで本日の第1回目の審議会を終了いたします。

岩田副会長  
第1回でしたが、いろいろご意見をいただきありがとうございました。住民ニーズの中で行政としてどのように進めていくか、住民としてどのように進めていくか探り合ってより良い方向づけができればと思っております。保護者の方々には忌憚のないご意見をお願いいたします。また、事務局には事前に資料をお願いします。本日はありがとうございました。

(15時30分終了)